



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 互応化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4962 URL <http://www.goo-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼総務部長 (氏名) 川尻 健生 TEL 0774-46-7777  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,733	3.3	634	1.7	748	3.6	671	29.2
29年3月期第3四半期	5,548	△1.4	623	△1.5	722	0.2	519	1.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 756百万円 (63.0%) 29年3月期第3四半期 463百万円 (0.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	102.76	—
29年3月期第3四半期	79.56	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,774	14,350	85.3
29年3月期	16,258	13,857	85.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,314百万円 29年3月期 13,819百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭  
 30年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	2.3	800	△1.1	925	1.5	790	27.0	120.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	6,992,000株	29年3月期	6,992,000株
30年3月期3Q	461,582株	29年3月期	461,515株
30年3月期3Q	6,530,445株	29年3月期3Q	6,530,485株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、一部成長ペースの鈍化が見られるものの、回復基調が継続し底堅い動きとなりました。一方、運輸業などでは人手不足がより顕著となり、物流への影響も出始めております。また世界経済においては、米国を中心に欧州各国も堅調に推移し、緩やかな回復基調を継続したことで全体的な不透明感は緩和しました。しかしながら、中国経済の下振れ懸念や、北朝鮮情勢などの地政学的リスクは払拭できておらず、先行きに関しては引き続き注意の必要な状態が続いております。

このような状況の中、電子材料分野においては、アミューズメント関連は引き続き低調ながら、自動車やスマートフォン関連などの分野は好調に推移しました。また繊維分野及び化粧品分野も比較的堅調に推移し、製紙印刷分野は、市場の変化の影響を受けながらも横這いの動きとなりました。その他工業用分野では、水溶性ポリエステル樹脂関連の分野が、引き続き在庫調整の影響を受けておりましたが、ここにきて回復の兆しが見えて参りました。

また、当社グループの活動状況と致しまして「人そして地球を豊かにする」ことを実現するために、取引先さまとともに「考え抜く集団」となることを目指し、今までの枠組みを超えた相互交流を行い、新たな価値を社会に提供することに取り組んで参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,733百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は634百万円（同1.7%増）、経常利益は748百万円（同3.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は671百万円（同29.2%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (反応系製品)

反応系製品の中で繊維業界は、国内市場で衣料向け製品が上向きとなり、資材向けも引き続き堅調に推移し、海外市場では中国市場が復調しました。

製紙印刷関連業界は、パッケージ用途、ダイレクトメール用途ともに需要の低迷が続いておりますが、底打ち感もあり、横這いに推移しました。

化粧品業界では、一部顧客の生産ライン改修などの影響により伸び悩みましたが、化粧品市場全体は好調に推移しておりヘアスタイリング剤においても海外を含めて好調に推移しました。

その他工業用分野では、水溶性ポリエステル樹脂が易接着フィルムの生産調整で下回っておりますが、市場拡大の影響もあり、回復傾向にあります。また、自動車関連は堅調に推移、メッキ関連は国内市場の電子基板用途が堅調、海外市場は印刷用途が好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は4,851百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は1,024百万円（同0.8%増）となりました。

## (混合系製品)

混合系製品の中で電子部品業界は、国内市場ではLED用途及び自動車関連、スマートフォン向け部品市場が好調に推移しましたが、アミューズメント関連市場は引き続き低調に推移しました。

海外市場ではLED用途及び自動車関連、太陽電池関連、タッチパネル用途が好調に推移しましたが、パソコン関連市場は引き続き低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は882百万円（同1.2%増）、営業利益は2百万円（前年同期は営業損失2百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は16,774百万円と前連結会計年度末に比べ、516百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ337百万円減少し11,083百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が156百万円、電子記録債権が62百万円、原材料及び貯蔵品が55百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が571百万円、商品及び製品が53百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ854百万円増加し5,691百万円となりました。これは、建設仮勘定が429百万円、投資有価証券が440百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ16百万円増加し1,865百万円となりました。これは、未払金が122百万円減少しましたが、電子記録債務が138百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ6百万円増加し558百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が5百万円増加したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ493百万円増加し14,350百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が20百万円減少しましたが、利益剰余金が409百万円、その他有価証券評価差額金が105百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から899百万円減少し1,758百万円となりました。

各キャッシュ・フローの概要は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は660百万円(前年同期比10.0%増)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益936百万円(同31.1%増)に対し、賞与引当金の減少額70百万円(同30.2%減)及び投資有価証券売却益191百万円(前年同期は一)、売上債権の増加額238百万円(前年同期比29.1%増)、法人税等の支払額189百万円(同34.9%減)があったものの、減価償却費201百万円(同12.4%減)及び仕入債務の増加額220百万円(同53.4%増)があったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,290百万円(同184.0%増)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入5,746百万円(同1.5%増)及び投資有価証券の売却による収入505百万円(前年同期は一)がありましたが、定期預金の預入による支出6,076百万円(前年同期比5.9%増)及び投資有価証券の取得による支出607百万円(同499.1%増)、有形固定資産の取得による支出857百万円(前年同期比220.3%増)があったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は262百万円(同33.8%増)となりました。これは、主として配当金の支払額261百万円(同33.5%増)があったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、概ね予想の範囲内で推移しておりますので業績予想の見直しは行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,907,904	7,336,117
受取手形及び売掛金	1,759,797	1,916,043
電子記録債権	214,716	277,347
商品及び製品	671,516	618,493
仕掛品	285,417	305,747
原材料及び貯蔵品	478,683	534,549
繰延税金資産	81,350	57,633
その他	24,554	40,639
貸倒引当金	△2,863	△3,213
流動資産合計	11,421,077	11,083,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,918,500	3,926,667
減価償却累計額	△3,115,950	△3,110,148
建物及び構築物(純額)	802,549	816,519
機械装置及び運搬具	6,339,248	6,358,186
減価償却累計額	△5,921,244	△5,974,031
機械装置及び運搬具(純額)	418,004	384,155
工具、器具及び備品	998,738	1,046,325
減価償却累計額	△834,238	△864,248
工具、器具及び備品(純額)	164,500	182,077
土地	2,165,745	2,215,314
建設仮勘定	276,374	705,996
有形固定資産合計	3,827,174	4,304,063
無形固定資産	85,159	76,060
投資その他の資産		
投資有価証券	858,684	1,298,982
繰延税金資産	51,570	—
その他	24,956	22,212
貸倒引当金	△10,237	△9,979
投資その他の資産合計	924,974	1,311,215
固定資産合計	4,837,308	5,691,339
資産合計	16,258,385	16,774,699

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	508,810	588,849
電子記録債務	480,497	619,179
未払金	390,608	268,598
未払費用	12,889	3,975
未払法人税等	102,484	116,275
賞与引当金	186,963	116,739
役員賞与引当金	30,500	21,375
その他	136,288	130,635
流動負債合計	1,849,041	1,865,628
固定負債		
役員退職慰労引当金	126,643	132,399
退職給付に係る負債	425,455	424,554
繰延税金負債	—	1,378
固定負債合計	552,098	558,332
負債合計	2,401,140	2,423,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	12,316,977	12,726,814
自己株式	△404,088	△404,182
株主資本合計	13,582,879	13,992,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188,033	293,605
為替換算調整勘定	50,613	29,794
退職給付に係る調整累計額	△1,724	△1,686
その他の包括利益累計額合計	236,922	321,713
非支配株主持分	37,443	36,402
純資産合計	13,857,245	14,350,738
負債純資産合計	16,258,385	16,774,699

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	5,548,388	5,733,876
売上原価	3,397,768	3,511,545
売上総利益	2,150,619	2,222,330
販売費及び一般管理費	1,526,812	1,588,184
営業利益	623,806	634,146
営業外収益		
受取利息	7,342	8,201
受取配当金	41,127	8,370
為替差益	18,238	7,338
受取ロイヤリティー	27,159	126,553
その他	13,158	7,473
営業外収益合計	107,025	157,936
営業外費用		
売上割引	8,665	8,577
支払補償費	—	29,918
持分法による投資損失	—	4,972
その他	—	289
営業外費用合計	8,665	43,758
経常利益	722,167	748,325
特別利益		
投資有価証券売却益	—	191,524
固定資産売却益	—	538
特別利益合計	—	192,062
特別損失		
固定資産除却損	7,723	4,096
特別損失合計	7,723	4,096
税金等調整前四半期純利益	714,444	936,292
法人税、住民税及び事業税	138,067	233,573
法人税等調整額	53,288	29,986
法人税等合計	191,355	263,560
四半期純利益	523,088	672,731
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	519,566	671,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,521	1,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,429	105,571
為替換算調整勘定	△105,656	△22,044
退職給付に係る調整額	68	40
その他の包括利益合計	△59,159	83,566
四半期包括利益	463,928	756,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	465,926	755,847
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,997	451

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	714,444	936,292
減価償却費	229,780	201,325
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,748	214
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△100,610	△70,223
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,625	△9,125
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10,241	2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,837	5,756
受取利息及び受取配当金	△48,470	△16,572
為替差損益 (△は益)	△2,417	△3,241
持分法による投資損益 (△は益)	—	4,972
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△191,524
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△538
有形固定資産除却損	7,723	4,096
売上債権の増減額 (△は増加)	△184,526	△238,143
たな卸資産の増減額 (△は増加)	65,667	△26,331
仕入債務の増減額 (△は減少)	143,530	220,133
未払消費税等の増減額 (△は減少)	29,513	△37,728
未払金の増減額 (△は減少)	12,854	59,961
未払費用の増減額 (△は減少)	△10,441	△8,497
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△38,671	△11,707
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	56,661	49,163
その他	△5,990	△35,052
小計	840,595	833,233
利息及び配当金の受取額	51,186	16,846
法人税等の支払額	△291,214	△189,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	600,567	660,552
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△5,738,088	△6,076,743
定期預金の払戻による収入	5,662,433	5,746,884
投資有価証券の取得による支出	△101,417	△607,546
投資有価証券の売却による収入	—	505,895
有形固定資産の取得による支出	△267,730	△857,462
有形固定資産の売却による収入	—	538
無形固定資産の取得による支出	△2,237	△683
固定資産の除却による支出	△7,286	△80
貸付けによる支出	△648	△2,177
貸付金の回収による収入	654	1,177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△454,320	△1,290,197
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△93
配当金の支払額	△195,739	△261,229
非支配株主への配当金の支払額	△654	△1,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△196,394	△262,815
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44,803	△6,712
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△94,950	△899,172
現金及び現金同等物の期首残高	2,337,189	2,657,643
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,242,238	1,758,470

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い等の適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成29年3月29日)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成29年3月29日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,676,300	872,087	5,548,388	—	5,548,388
セグメント間の内部売上高 又は振替高	149,108	—	149,108	△149,108	—
計	4,825,409	872,087	5,697,496	△149,108	5,548,388
セグメント利益 又は損失(△)	1,016,899	△2,387	1,014,511	△390,705	623,806

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△390,705千円は、各報告セグメントに配分していない  
全社費用であります。  
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っ  
ております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,851,441	882,434	5,733,876	—	5,733,876
セグメント間の内部売上高 又は振替高	145,352	—	145,352	△145,352	—
計	4,996,794	882,434	5,879,228	△145,352	5,733,876
セグメント利益	1,024,949	2,727	1,027,677	△393,530	634,146

- (注) 1. セグメント利益の調整額△393,530千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり  
ます。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。  
3. 報告セグメントの変更等に関する事項  
(連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い等の適用)  
「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告  
第18号平成29年3月29日)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務  
対応報告第24号平成29年3月29日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。  
これによる、セグメント利益に与える影響はありません。